

平成22年10月7日

東北支所

平成22年度 宮城県消費生活展 共催参加報告

1. 「消費生活展」の概要

本年度も宮城県消費生活センター、宮城県金融広報委員会及びN I T Eの三機関共催で「消費生活展」を実施したが、今年のテーマは『「守ろうよ、みんなを！」～だれもが安全・安心に暮らせるために～』で、消費者を巡る環境の急速な変化に伴い、消費者問題も広範囲に渡っている現在、消費者が安全・安心に暮らせる社会をめざし、消費生活に関する知識の普及及び啓発に資することを目的に4日間の展示及び講座が1つになったイベントが開催された。今年は契約トラブル、詐欺被害、改正貸金業法、製品事故など多様な内容で、各分野の専門家による講演とビデオ放映、パネル展示やパンフレットの配布が行われた。

(1) 消費者展開催日時：2010年9月28日（火）～10月1日（金） 10:00～18:00

なお、最終日は16:00まで

全体総来場者数：1,561人

主催者：宮城県消費生活センター・宮城県金融広報委員会・N I T E東北支所

会場：東北電力グリッドプラザ アカホール（仙台市青葉区一番町3-7-1 電力ビル1階）

2. N I T E広報活動

(1) 出展ゾーン及び展示内容

展示場所は会場の入り口付近の見やすい場所に、N I T Eがこれまで収集してきた事故品の中で最近話題の事故品や長期使用による事故品を中心に展示（5品目）し、その内容を紹介したパネル（A0版）を5枚展示した。また、身・守りハンドブック等の配布及びアンケートを実施した。

・配布資料：身・守りハンドブック、製品安全パンフ、パネルの縮小版（数種）等

(2) 来訪者について

来訪者には、N I T E職員が一人一人に丁寧かつ分かり易くN I T Eの事故情報収集業務と展示事故品の原因等の説明を行った。

N I T Eブース等の風景を以下に示す。



写真1 N I T Eブース風景

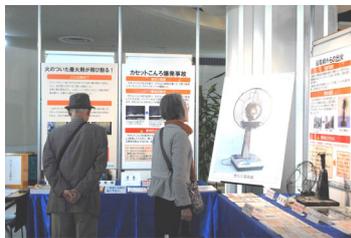


写真2 パネル鑑賞風景



写真3 職員の説明風景

3. まとめ

当消費者展は毎年行われており、今年は『「守ろうよ、みんなを！」～だれもが安全・安心に暮らせるために～』と題して、契約トラブル、詐欺被害、改正貸金業法、製品事故について4日間にわたって講演、パンフの配布及びパネル展示を行った。講演は、テーマに合わせて専門の講師を呼び、参加申し込み者だけでなく、一般消費者が自由に聞けるような場所でオープン講座として聞けるようにしていた。特に、詐欺被害及び改正貸金業法の話には多くの聴衆者が講演に耳を傾けていた。

展示にあたり、今年プレスリリースされた経年劣化による扇風機からの出火による事故やこれからの季節使用が多くなると思われる着火剤、カセットこんろの事故等身近な話題を考慮してN I T Eスクエア等に展示されている事故品を展示し、来訪者に事故調査の趣旨や展示品の説明等を行った。N I T Eの説明に対して、その存在や事故情報収集制度を知らなかった来訪者がまだまだ多かったが、事故品への感心は高く、かなりの反響が得られた。参加者の意見としては「展示品と説明を聞いて、身近な製品での事故について改めて注意したい。」との声が多く、今回の参加によりN I T E及び事故調査への期待がさらに高まったものと思われる。

以 上